

MS316-28006

GR スポーツサイドバイザー

取付・取扱要領書

この度はGR スポーツサイドバイザーをお買い上げ頂きありがとうございます。
 本書には上記商品の取付け、取扱いについての要領と注意事項を記載してあります。
 取付け前に必ずお読みのうえ、正しい取付け、取扱いを実施してください。
 なお、本書は必ずお客様にお渡しください。

★本商品は未登録車への取付けは出来ません。必ず車両登録後に行ってください。

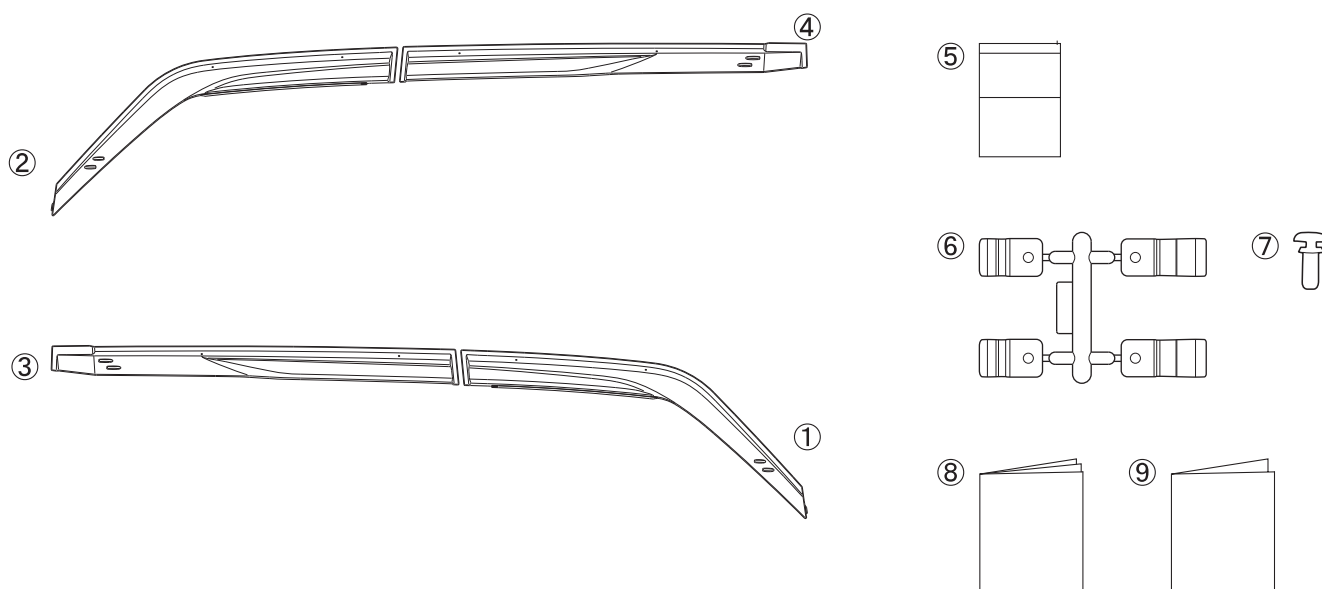
■品番・適合一覧表

品 番	適合車種	備考
MS316-28006	ノア・ヴォクシー '22.1～	

■構成部品

No.	部 品 名	個数	備 考
①	フロントバイザーRH	1	
②	フロントバイザーLH	1	
③	リヤバイザーRH	1	
④	リヤバイザーLH	1	
⑤	PACプライマー	1	
⑥	ブラケット	8	
⑦	ブラケットピン	8	
⑧	取付・取扱要領書(本書)	1	
⑨	脱脂作業要領書	1	

■構成部品図



取付上のご注意（取付作業の方へ）

作業を行う前に必ずお読みになり、安全で確実な取付け作業を行ってください。



警告

この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。



注意

注意事項を守らないで、誤った取付け・取扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがある事を記載しています。



アドバイス

スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。



やってはいけないこと



必ず行なっていただくこと

⚠ 警告

- ⊖ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招くおそれがありますので絶対に行わないでください。
- ❗ 本商品の取付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。
- ❗ 取付け作業は規定トルクに従って、確実に締め付けてください。締め付けが不足すると脱落などにより重大な事故や故障を招くおそれがあります。

⚠ 注意

- ❗ 本商品を取付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。
- ❗ 本商品の取付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取扱いを行ない、同時に取付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行ってください。取付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

脱脂作業について（別添の脱脂作業要領も参考にしてください。）

- ❗ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、イソプロピルアルコール(IPA)を使用して下さい。上記指定以外の溶剤は絶対に使用しないでください。
- ❗ 脱脂作業にボディーコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

- ❗ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。
- ❗ 両面テープは一度貼り付けてから剥がしますと、接着力は低下しますので再貼り付けはできません。
- ❗ 本商品の両面テープは、環境温度が20℃以下の低温時には接着能力が著しく低下します。温度が不足すると両面テープが剥がれます。
- ❗ 両面テープの圧着は49N(5kgf)以上(車両が軽く揺れる程度)で確実に行ってください。圧着が不足すると両面テープが剥がれます。
- ⊖ 本商品の取付け後24時間は、洗車や水(水拭きを含む)・雨などが、かからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

取付けが終わったら

- ❗ 取付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
- ❗ 作業にバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。
- ❗ 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

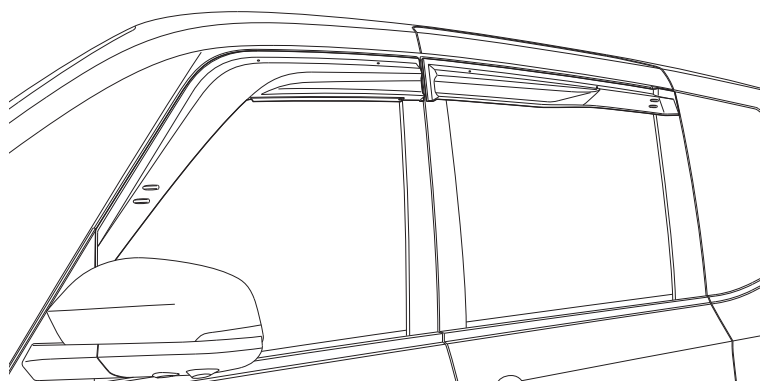
■目次

1. 表紙、適合表、構成部品表、構成部品図	1
2. 取付上のご注意(取付作業の方へ)	2
3. 目次、取付けに必要な工具・保護具・消耗品、取付構成図、製品における注意点 . .	3
4. 取付準備・取付要領	4~10
5. 取付け完了後の点検・注意事項、取扱上の注意	11

■取付けに必要な工具・保護具・消耗品

- ・ マスキングテープ・清潔なウエス
- ・ イソプロピルアルコール(IPA)・工業用ドライヤー

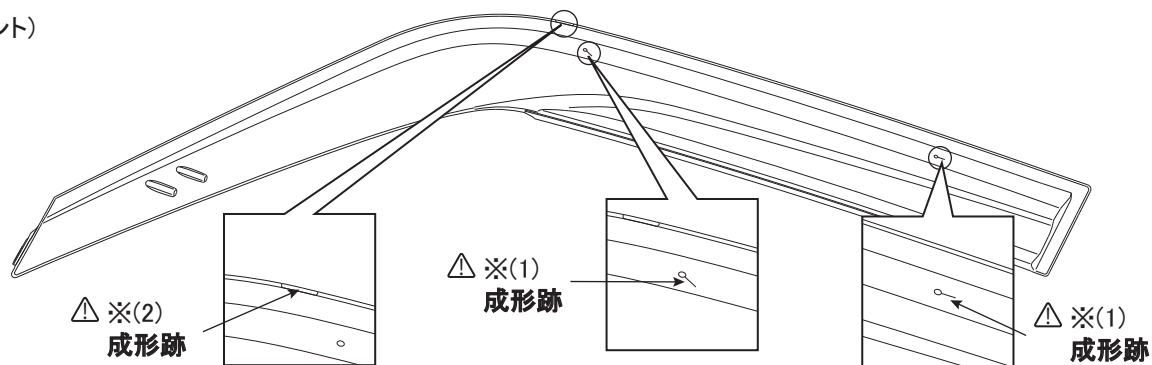
■取付構成図



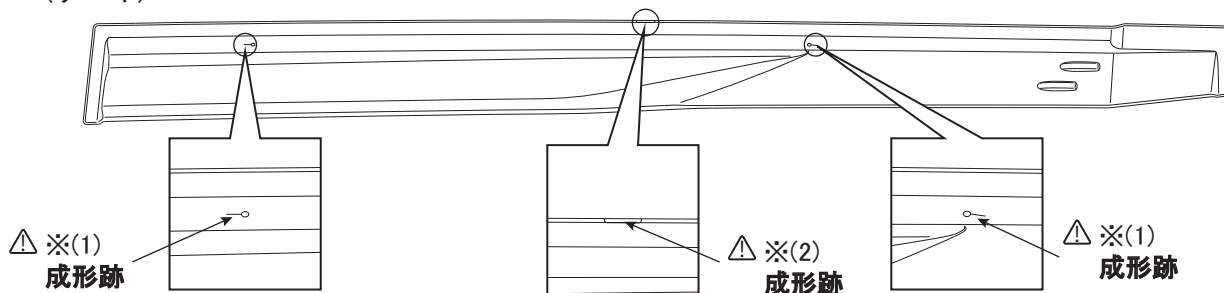
※イラストはLH側を表しています

■製品における注意点

(フロント)



(リヤ)



※(1) 丸の示す位置にあるラインは成形跡なので、製品上問題ありません。

※(2) 丸の示す位置にある模様は成形跡なので、製品上問題ありません。

本説明はLH側を示しています。RH側も同様に取付けてください。

■取付準備、取付要領

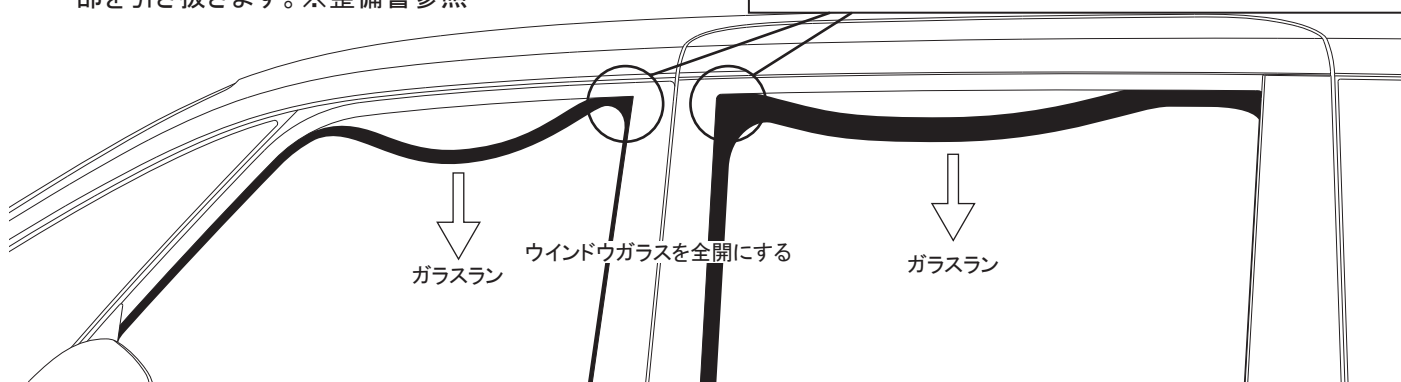
□取付準備

1. 車両の脱脂・洗浄

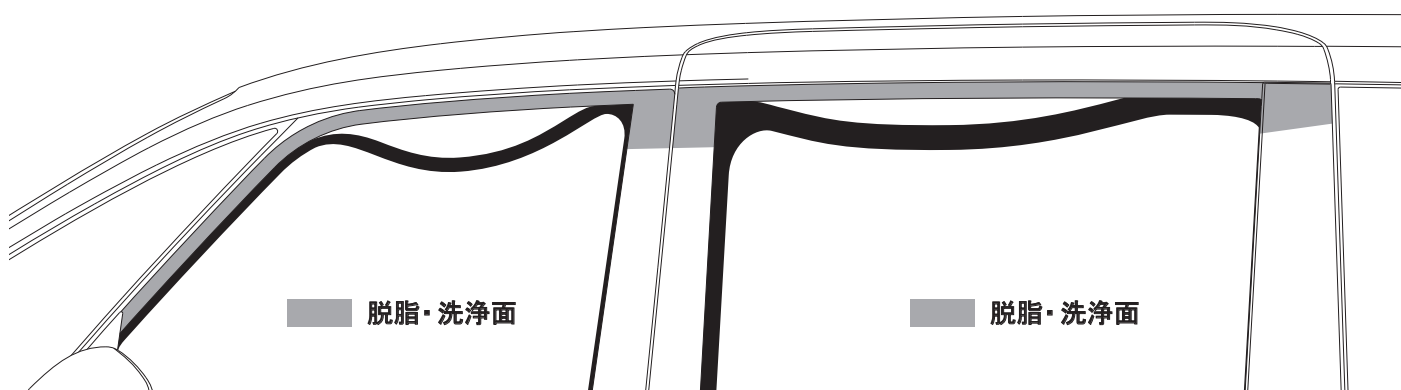
- ・ウインドウガラスを全開にします。
- ・下図を参考に、ドアパネルよりガラスランの一部を引き抜きます。※整備書参照

アドバイス

ガラスランは、コーナー部を外すと復元が困難になり復元不良の原因となりますので外さないでください。



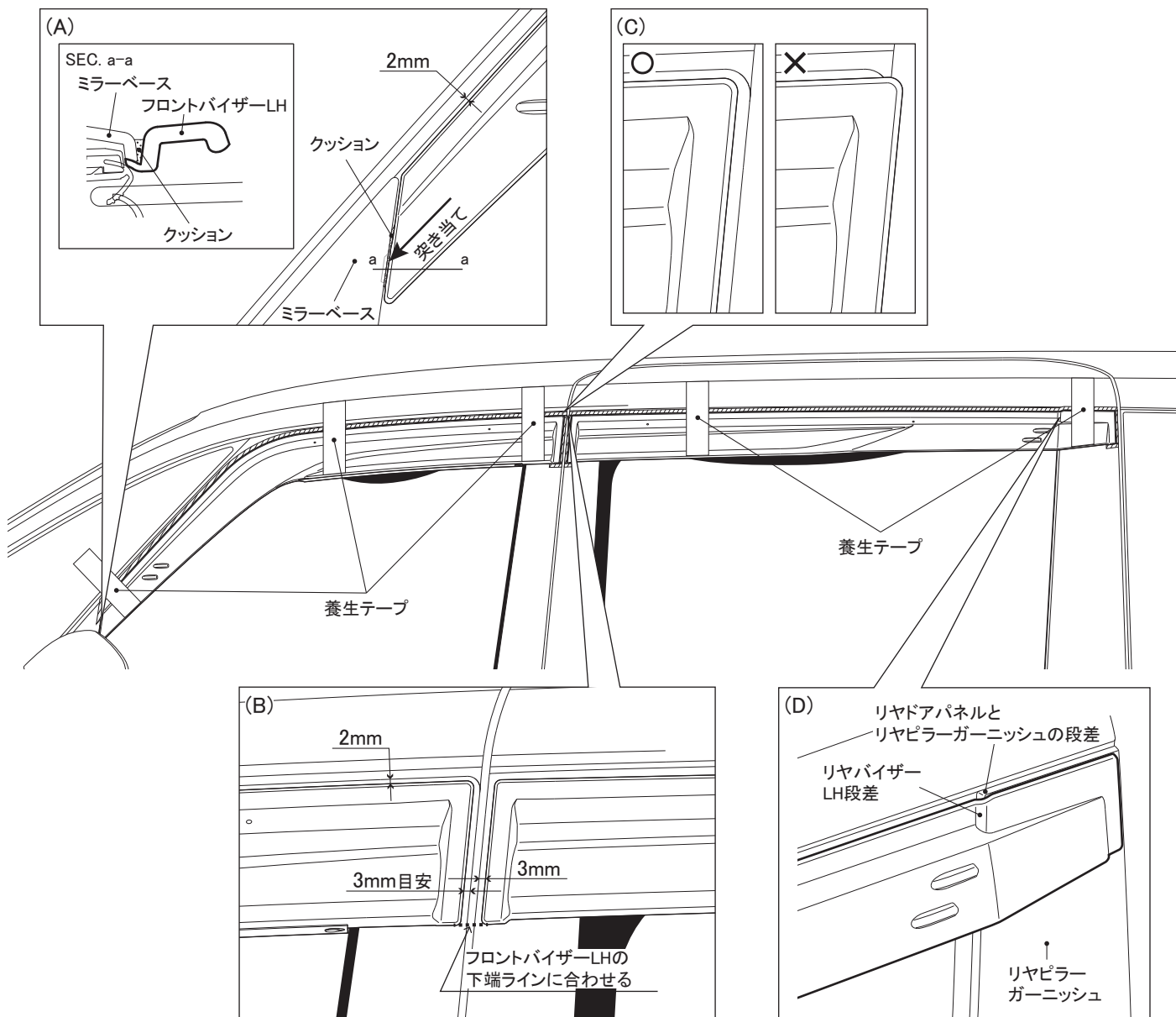
- ・バイザー貼り付け面のゴミ、汚れ、油分等をウエスで確実に除去し、脱脂処理を行います。



△注意：脱脂・洗浄を確実に行わないと、浮き、剥がれ、脱落の原因となります。

2. サイドバイザーの仮付け

- ・フロントバイザーLH(構成部品②)は、下図を参考に(A)の示すミラーベースとガラスランの間にバイザー先端の爪を差し込み、クッションが十分につぶれるまで突き当ててください。
- ・下図A、Bを参考にフロントバイザーLH上端をドアパネル端部から2mm内側に合わせ、後端をドアパネルから3mm目安に合わせ、バイザーを養生テープで仮固定します。
- ・下図Cを参考にフロントバイザーLH後端がドアから飛び出ないことを確認してください。
- ・フロントバイザーLHの外周をマスキングします。
- ・下図B、Dを参考にリヤバイザーLH(構成部品④)は、前端をドアパネルから3mm内側に合わせ、下端をフロントバイザーLHの下端ラインに合わせ、リヤバイザー上端とブラックアウトを平行になるように合わせる。(D)の示すリヤドアパネルとリヤピラーガーニッシュの段差にリヤバイザーLHの段差が干渉・乗り上げがないように合わせ、バイザーを養生テープで仮固定します。
- ・リヤバイザーLHの外周をマスキングします。



△ 注意：フロントバイザーLH先端の爪を差し込む際、クッションが十分につぶれるまで押しつけてください。
フロントバイザーLH後端がドアから飛び出ないことを確認してください。
バイザー仮付けの際、ドアパネルをキズ付けないように注意してください。
マスキングは、プライマーのはみ出し防止の目的もありますので、必ず行ってください。

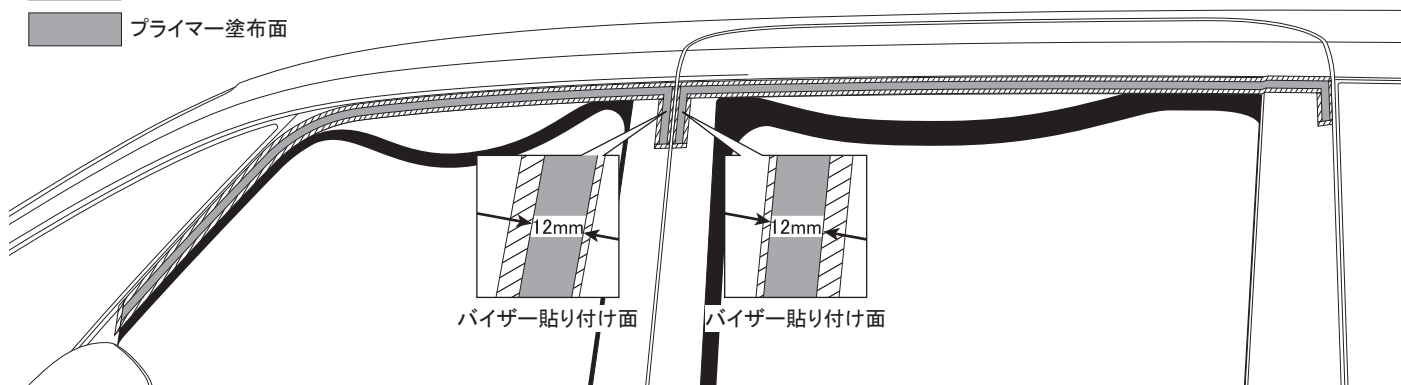
3.プライマーの塗布

- ・仮付けしたフロントバイザーLHを外します。
- ・下図を参考に、2.サイドバイザーの仮付け作業で貼り付けたマスキングテープから12mm内側にマスキングします。
- ・仮付けしたリヤバイザーLHを外します。
- ・下図を参考に、2.サイドバイザーの仮付け作業で貼り付けたマスキングテープから12mm内側にマスキングします。
- ・バイザー貼り付け面を再度、脱脂・洗浄を行います。
- ・プライマー塗布面にプライマー（構成部品⑤）を塗布します。
- ・プライマー乾燥後、12mm内側に貼った、マスキングテープのみ先に剥がします。

△ 注意

PACプライマーは特に白色塗装面を黄変させるため、マスキングをしてはみ出しを防止してください。はみ出した場合は、アルコール等で拭き取ってください。
PACプライマー塗布後、10分以上常温で放置し乾燥させてください。

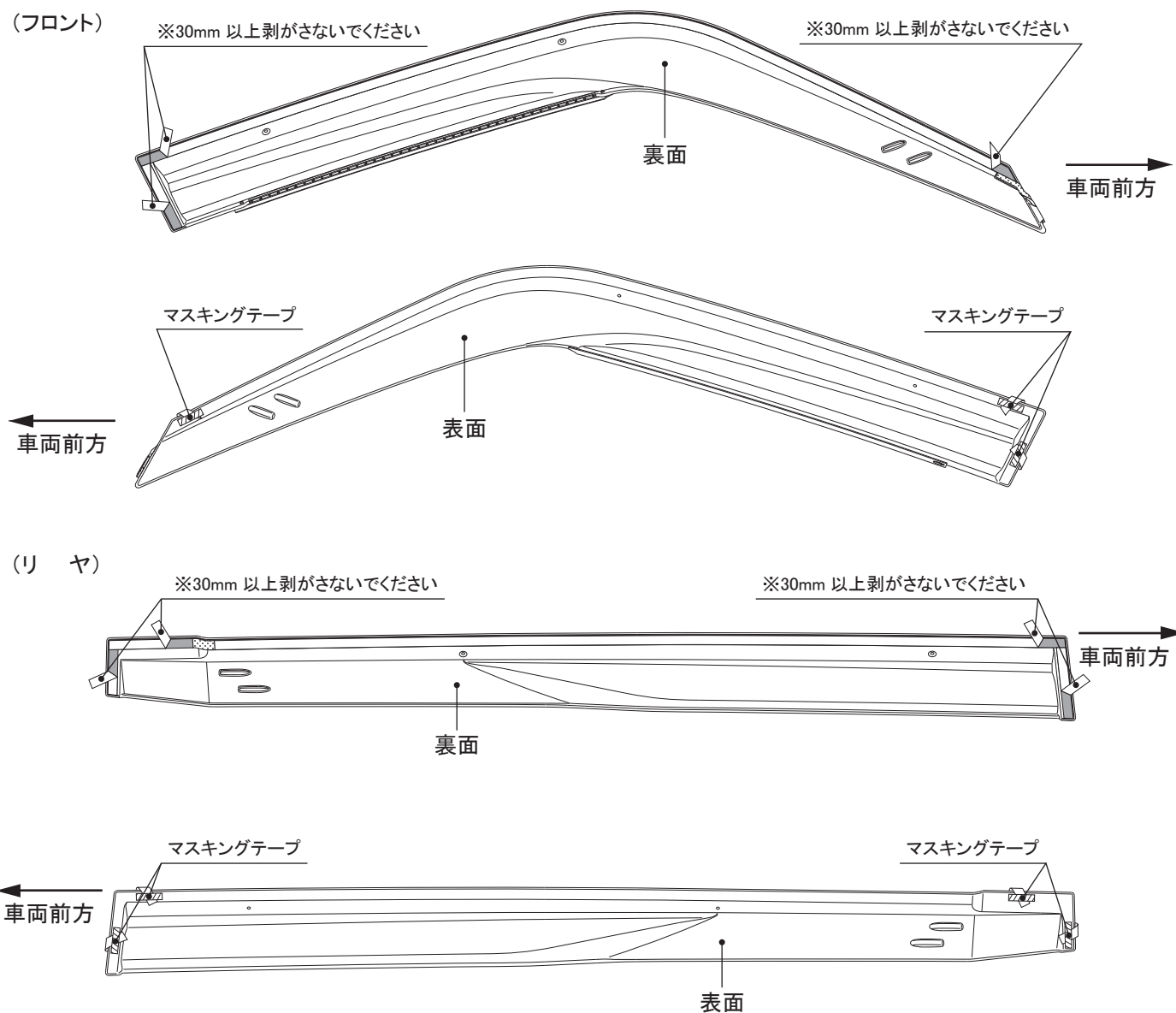
 マスキングテープ
 プライマー塗布面



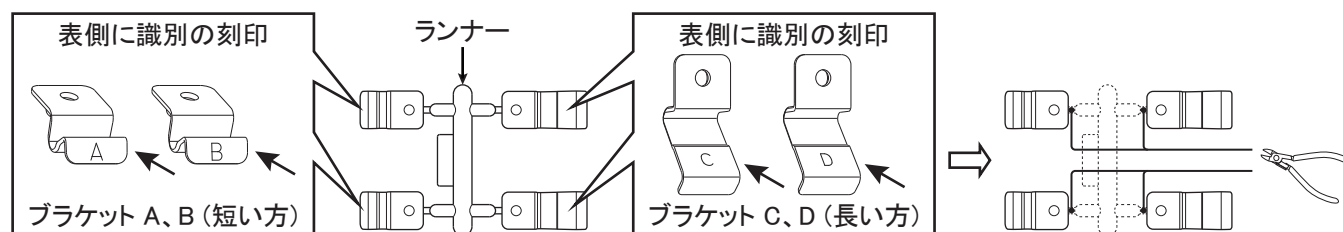
△ 注意：プライマー使用に際しては、3M PACプライマー取扱説明書に従い使用してください。
仮付けの際に両面テープの接着面にホコリ等が付着しないように注意してください。

4. サイドバイザー取付け前準備

- ・フロントバイザーLH・リヤバイザーLH裏面の両面テープの離型紙を下図を参考に30mm程度剥がし、外側に折り曲げ、表面にマスキングテープで貼り付けます。



- ・ブラケット(構成部品⑥)をランナーからニッパで切り離します。

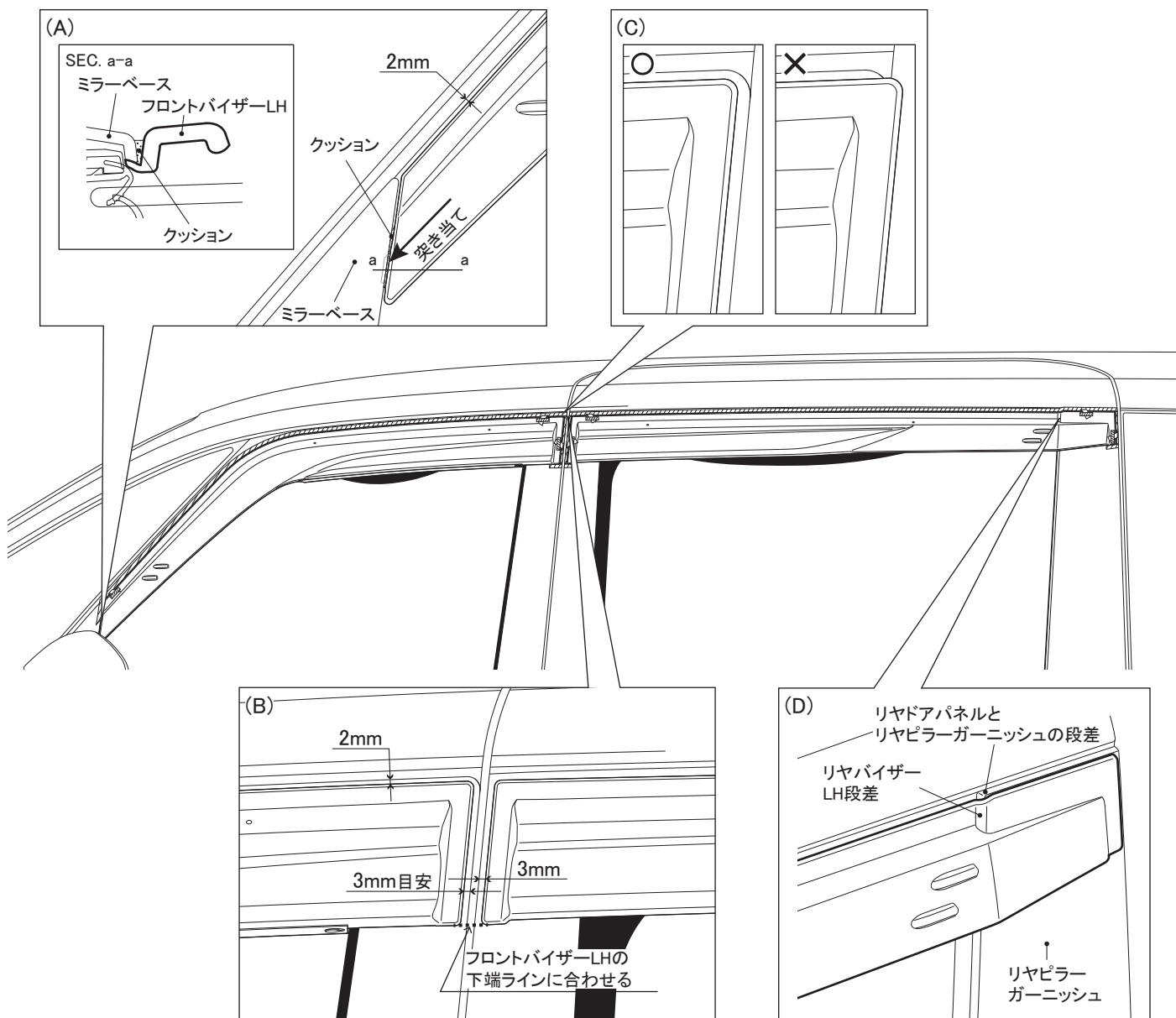


△注意：ブラケット切り離しの際、バリをきれいに処理してください。

□取付要領

1. サイドバイザー取付け

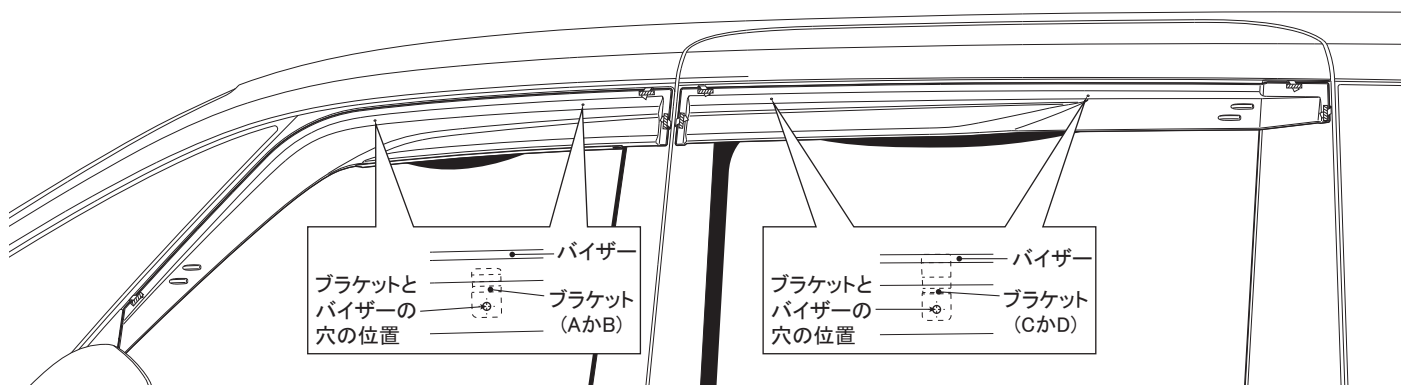
- ・取付準備 2. サイドバイザーの仮付けの取付け方法を参照し、バイザーの取付け位置を再度確認し、フロントバイザー LH、リヤバイザー LH の順に取付けます。
- ・マスキングテープをすべて剥がします。



△注意：フロントバイザー LH 先端の爪を差し込む際、クッションが十分につぶれるまで押しつけてください。
フロントバイザー LH 後端がドアから飛び出ないことを確認してください。
バイザー取付けの際、ドアパネルをキズ付けないように注意してください。

2. ブラケットの仮付け

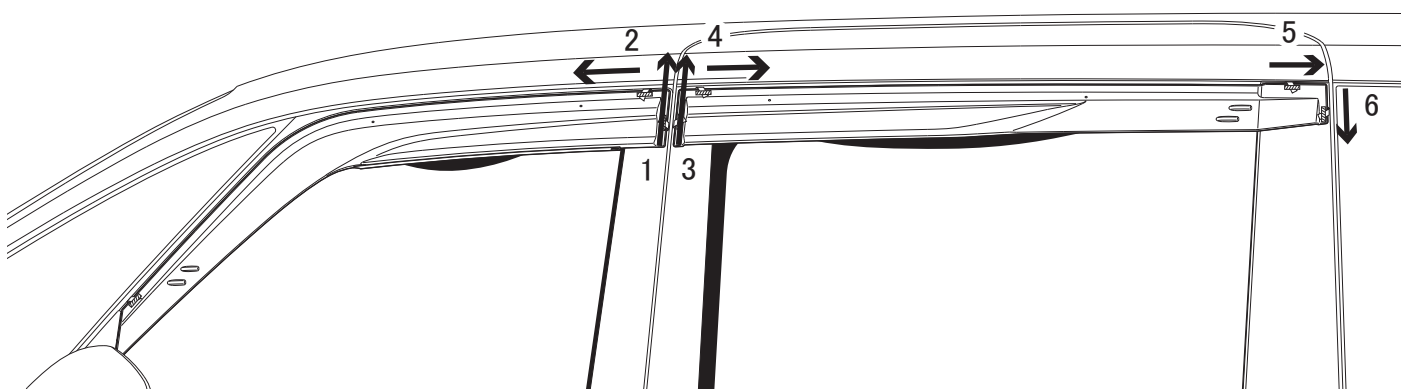
- ・ブラケットをバイザーの穴の位置で仮付けし、ブラケットの穴が見えることを確認してください。
- ・確認したらブラケットを脱落紛失防止の為外してください。



△ 注意：ブラケットA、BとブラケットC、Dを間違えないように注意してください。
ブラケットピンは一度使用すると性能が著しく低下するため、ブラケット仮付けの際、ブラケットピンは挿入しないでください。

3. サイドバイザー接着

- ・バイザーの両面テープ離型紙を→の方向に1～8の順に丁寧に引き抜きながら圧着します。

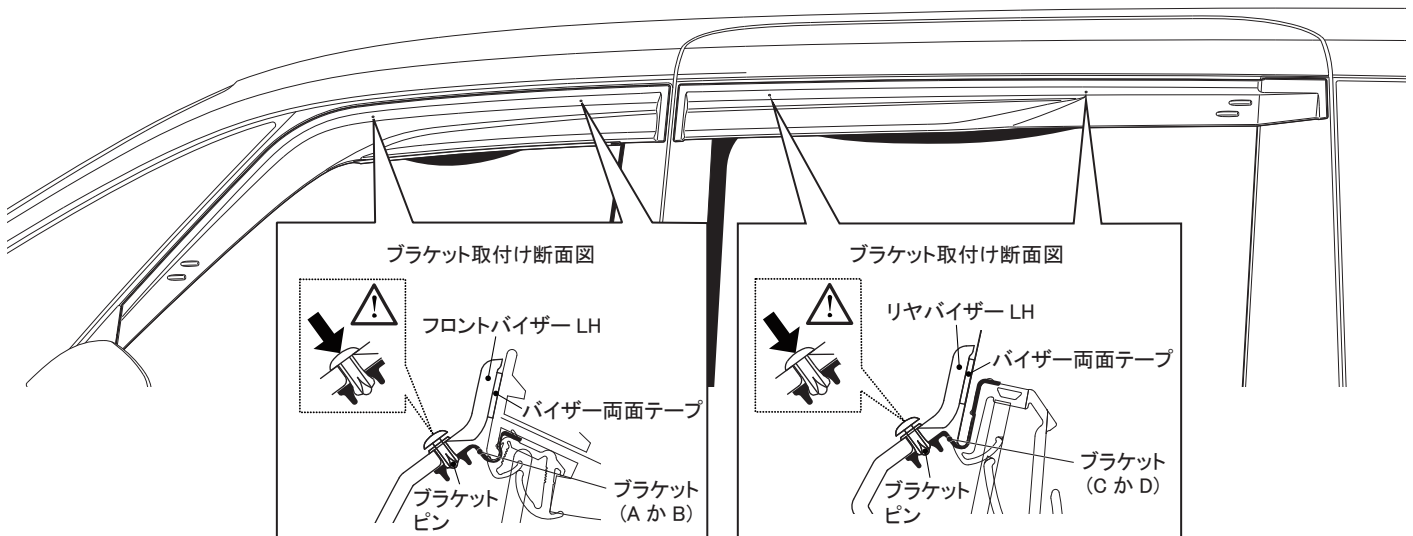


 **アドバイス** 両面テープの接着力は安定するまで3～5時間程度必要です。
製品の取付け後は、最低3時間程度、強い振動や風圧（車両の移動を含む）が、
掛からないようにオープンタイム（静止時間）お取りください。

 **警告** 両面テープは十分に圧着してください。圧着が不十分な場合、浮き・剥がれ等の症状が発生し
脱落などの重大な不具合が発生する可能性があります。
両面テープ接着後、24時間以内は雨・洗車等で接着部に水が掛からないようにしてください。
接着力が低下し、剥がれ・脱落等が発生する可能性があります。

4. ブラケット取付け

- ・下図を参考に、バイザーにブラケットを組み付けます。
- ・バイザーの開口穴に合わせてバイザー裏面からブラケットをセットし、バイザー表面からブラケットピン(構成部品⑦)を挿入して固定します。
- ・ブラケットピンを固定した後にブラケットに、ゆるみ、ガタつきがないことを確認してください。

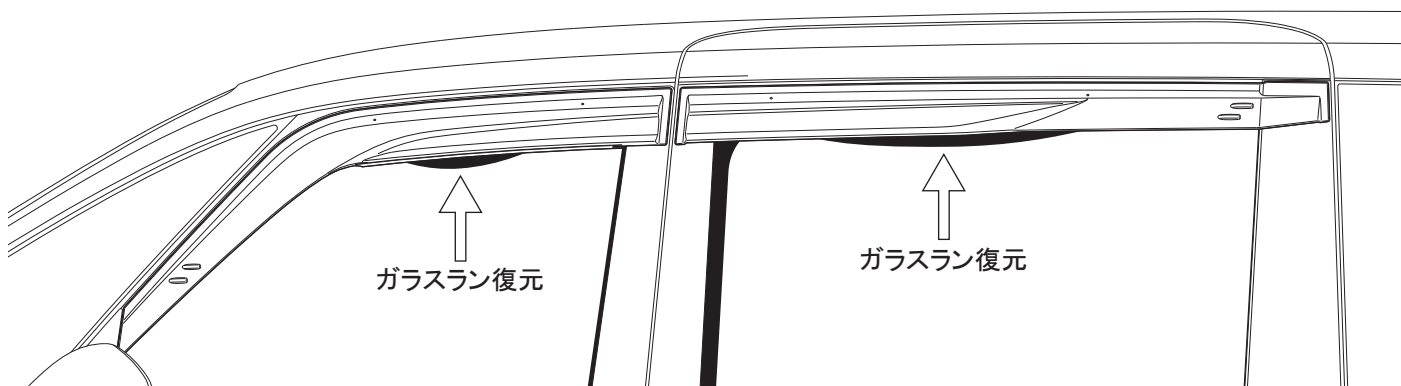


⚠ 注意 : ブラケットA、BとブラケットC、Dを間違えないように注意してください。
 ブラケットを取付ける際、ドアパネルにキズを付けないよう、十分にご注意ください。

📞 アドバイス : ブラケットは車両内側から取付けを行ってください。

■取付け完了後の点検・注意事項

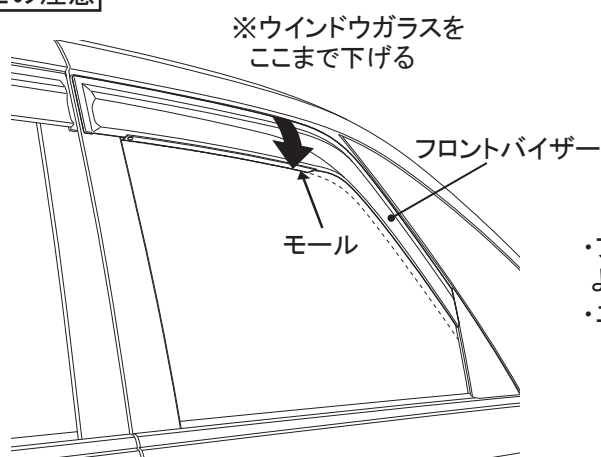
1. ガラスランをもとに戻します。



△注意：ガラスラン復元の際、ブラケット部は特に復元しにくい為、確実に戻してください。
作業終了後、各ドアのウインドウガラスをゆっくりと開閉し、ガラスラン・バイザーに異常がないことを確認してください。

2. 製品全周に渡り、浮き剥がれ等、無いことを確認してください。
3. 車両及びバイザー周りに傷がついていないことを確認してください。
4. バイザーが事故や接触等により、破損・変形した場合は、すぐに修理するか取り外してください。
そのままの走行は、事故の原因になるおそれがあり、大変危険です。
5. バイザーが汚れた場合は、スポンジに水で薄めた中性洗剤をつけ、水洗いし水分をウエス等で拭き取ってください。溶剤、薬品等は、バイザーを痛めますので、絶対に使用しないでください。
6. 定期的にブラケットのゆるみ、ガタ等を点検し、取付け状態を確認してください。
7. ウインドウガラスの汚れを拭き取る際に、モールに強く触れますと剥れるおそれがありますので、ご注意ください。
また、ガソリンスタンド等でも注意を促してください。

取扱上の注意



- ・フロントのウインドウガラスをモール部まで下げることで、より換気効果が向上します。
- ・エアコンを外気導入にすると、いっそう効果を得られます。

株式会社トヨタカスタマイジング&ディベロップメント
TRD 商品問い合わせ窓口
TEL:050-3161-2121
<https://www.trdparts.jp/>